



# 少連協ニュース

発行所 / 足立区少年団体連合協議会  
 〒120-8510 東京都足立区中央本町 1-17-1  
 足立区役所青少年課 青少年事業係  
 TEL 03-3880-5275 <http://www.a-shorenkyo.jp>

発行人 山本 輝夫  
 編集 調査広報部  
 鈴木(健) 大関 川田 小澤  
 田中 市川 高橋 川下  
 山岸 辻村 岩井 熊澤

▶江東五区少年団体代表者会議の金原亭世之介氏からの「話し方講座」における「3S」の「コマ」(P8参照)



## 可能性を信じて

足立区少年団体連合協議会  
 会長 山本輝夫

昨年末に「ジュニアリーダー研修会・冬季宿泊キャンプ」が新たなプログラムとなり実施された。

冬の体験活動はコミュニケーション能力を高める好機で、野外体験は「生きる力」を育むキャンプと位置付ける。「自主性と協調性」は人と関わる事から学び、厳しい環境の中に身を留める体験は一人一人の感性を否定なく豊かに磨いてゆく。子どもたちの成長に感心せずにはいられない。参加したジュニアリーダーにとって、青年リーダーの存在は指導者として輝いて見えた事だろう。

また年明けの年度最終の事業であるドッチビー大会では選手の目が輝いていた。昨年からは5秒ルールを導入しスピード感が増した。異年齢の入り混じるチームとは思えない小学低学年から中学生によるチームワークと戦術、実力は明らかに上達している。感性を磨き、個性を引き出す団体戦は応援する側を引き込み魅了した。

そこには誠実な子どもたちの姿に感動して止まない関係諸団体・スポーツ推進・少連協・全てのキャストから強いまなざしを感じた。子どもに寄り添う優しい心にPossible! 感謝申し上げます。

### 目次

山本会長あいさつ.....P1  
 ドッチビー大会.....P2~3  
 全子連育成中央会議.....P4  
 日帰りバス研修.....P5  
 都子連育成研究協議会.....P5  
 新年会.....P6

扇地少協紹介.....P6  
 冬季わくわくキャンプ.....P7  
 ジュニアリーダークラブ.....P7  
 江東五区少年団体代表者会議.....P8  
 訃報.....P8  
 編集後記.....P8

# 第12回ドッジビー大会

少連協恒例のドッジビー大会が2月11日に足立区総合スポーツセンターで熱い歓声の中、開催されました。

この大会に先立ち、1月30日にギヤラクシテイで参加予定チームのキャプテンが真剣な面持ちで一堂に会し、試合ルールや運営などに、大会進行及び対戦相手を決定しました。

大会当日には、総勢310名の選手が参加し、小学生の部17チームがそれぞれ3試合、小中学生の部5チームが総当たり4試合に挑みました。各チームとも試合攻略や技術の向上が見られ、どの選手も、まなじりを決しながらもゲームを楽しんでいた様子でした。

一方、スポーツ推進委員会の羽住会長をはじめスポーツ推進委員の皆様及びジュニアリーダークラブの皆様が多なるご協力により、試合がスムーズに運べ、大会が無事終了されました。

(事業研修部長 多島 三好)



▲選手宣誓！



▲ディスクキャッチ！



▲大会会場の様子

小学生の部	
順位	チーム名
1位	カバチジュニア
2位	加平キッズ
3位	ハイパーフライ

結果発表

小・中学生の部	
順位	チーム名
1位	ピンクパンサーA
2位	ピンクパンサーB
3位	鹿浜五色桜

# 優勝チーム にインタビュー！！

## “カバチジュニア” “ピンクパンサーA”



♪ 優勝した今の気持ちは？

(カ) 4連覇だ！めちゃうれしい。

(ピ) うれしい！最高！！



♪ ドッチビーの練習は楽しかったですか？

(カ) みんなで仲良くできて楽しかった。

(ピ) おやじの会のお父さんたちがコーチをしてくれた  
(コーチは神！)。すごい楽しかった。

♪ 何回ぐらい練習しましたか？

(カ) 2ヶ月の間、週1回ぐらいのペースでした。

(ピ) 16回ぐらい。



♪ 練習でつらかったことはありますか？

(カ) パスが上手いかなかったとき。  
コーチが厳しかったけど、やさしい。

(ピ) 全くない。



♪ 来年度も参加したいですか？

(カ) 6年だから、小中チームで参加したい。

(ピ) はい！参加します。



▲小学生の部 優勝 カバチジュニア



▲小中学生の部 優勝 ピンクパンサーA

「未来のこどもたちのための子ども会活動」  
全国子ども会育成中央会議等が開かれました



▲開会式 (文部科学大臣代理のあいさつ)

令和元年10月4日(金)から5日(土)の2日間にわたり、第53回全国子ども会育成中央会議・研究大会が岡山県倉敷市において、全国から690名の出席の中、開催されました。

この会議・研究大会のメインテーマは、「未来のこどもたちのための子ども会活動」です。子ども会活動等の意義を問いながら、10年後20年後には明るく晴れやかに

あつて欲しい未来の子ども会のある方を考え、学ぶとの趣旨で進められました。

初日の基調講演として「今、家庭・家族に必要なもの」と題し、岡山県青少年健全育成促進アドバイザーの森美智子氏のお話がありました。「幼児虐待」「ひきこもり」「三つ子の魂百まで」「親が変われば、子が変わる」等々、話題は身近なものでした。ご自身の子育てや学校教育現場で長年培われてこられた経験に基づいた熱いこもった講演でした。

2日目午前、「こんな子ども会活動に取り組んでいます！」

「ジュニアリーダーとシニアリーダー」「子どもの手による子ども会」など、参加者は10の分科会に分かれ、それぞれテーマの事例や課題発表をしました。その後、グループ討議を行い、分科会の中で発表し、意見を交換し合っていました。

午後には、「キセキの葉書」(難病の娘と認知症とうつ病を併発する母を抱えながらも、降りかかる苦難を明るく朗らかに前向きに生き抜く女性の物語)の映画鑑賞をしました。その後、原作者(脇谷みどり氏)の「可能性の扉を開けて」と題した講演がありました。

「自分が変わる」「意識を変える」「自分で挑戦する」など、実体験からのお話でした。

当協議会からは、鈴木春男副会長、鈴木健治副会長ら6名が参加しました。今回の研究会において、子どもたちとの関わり方や自らの



▲分科会 (子どもの手による子ども会)

地域行事を顧みることができるとともに、全国各地域の子ども会育成者の活動を学ぶことができました。今後の少連協のイベントをはじめ、子ども会活動に生かしていただける成果を上げることができました。

なお、この大会において、「地域の子ども会活動を永年支えて来られた」として、58個人、13団体が表彰され、足立区少連協では大林英夫副会長ご夫妻が全国子ども会連合会から表彰されました。

(調査広報部長 大関英広)



▲受賞された大林英夫副会長ご夫妻



## 新年会を開催 和やかに交流の輪を広げ



令和 2 年 1 月 10 日(金)、勤労福祉会館(綾瀬プルミエ)で 12 名のご来賓をお迎えして少連協新年会が開催されました。

冒頭の区歌斉唱では馬場信男常任理事の指揮の下、参加者 105 名の歌声が高らかに会場に響き渡り幕開けとなりました。

まず、山本会長の熱意溢れる挨拶に始まり、定野司教育長と鹿浜昭区議会議長より子どもたちと地域との関わりの重要性和励ましのお言葉をいただきました。また、台風 19 号による大雨洪水時の、学校等の避難所における子どもたちの活躍の紹介もあり、今後の少連協活動の励みとなるお話でした。

懇談会の席ではそれぞれ地域の近況や子どもたちの育成の話題に花が咲き、和やかに歓談し交流の輪を広げました。

ビンゴゲームでは鉢花や嗜好品等の景品を前に、中々ビンゴにならないもどかしさの中、童心に戻り楽しいひと時を過ごしました。

新年会の結びには、少連協の益々の活躍と参会者の健勝と子どもたちの健やかな成長を願い、三本締めと万歳三唱をもって散会となりました。  
(総務部副部長 大山 千恵子)



▲常任理事の指揮で区歌斉唱



▲左から 鹿浜議長、山本会長、定野教育長、下河邊青少年課長

## 地域の応援団として 「扇地少協」

扇地少協は扇小学校と興本学園を拠点に活動しています。興本学園は、足立区で最初の小中一貫校(扇中学校と興本小学校)です。

地域は農家が点在するのどかな町でしたが、舍人ライナーの開業によりスーパーや病院・マンション等が増え、賑やかな街に変わりました。活動は来年 30 回目を迎えるサマーフェスティバルや地域の餅つき大会等を中心に地域の町会、自治会、マンション組合等の青少年部の役員さんや PTA・多数の中学生ボランティア・興本クラブ等にも協力をいただき行っています。特に PTA の(父)(注…かつこ父と呼びます)は裏方さんとして活躍し、中学生ボランティアを盛り上げてくれています。中学生のリーダー会も毎月部会が行われ、餅つき大会ではサンタさんに変身して地域の活動に貢献しています。扇地少協は学校・PTA の応援団として相互に連携して楽しく活動することを目指しています。

(扇地少協会長 鈴木 春男)



▲サマーフェスティバルの司会進行もスムーズに中学生リーダー



▲サンタさんになって餅つきの中学生リーダー



▲吹奏楽部のオープニング演奏は もちろん「学園天国」

# ジュニアリーダー 冬季わくわくキャンプ



令和元年12月21・22日、北海道あすなろの里キャンプ場においてジュニアリーダー冬季わくわくキャンプが行われました。

ジュニアリーダー研修会を終了した5年生を対象に募集し、小学生43名、ジュニアリーダークラブ中学生25名、大学生青年リーダー引率スタッフを含め総勢120名が参加しました。

冬季という事で宿泊棟を利用し、野外炊さんは、昼2回という行程でした。

今回のプログラムは、全て青年リーダーが企画し、中学生のジュニアリーダーが5年生とともに行動をするという長年少連協が掲げてきた目標が形になったように思えました。

中学生の参加も多数あったことにより、参加した小学生はとて心強かったことと思います。数多くのレクリエーションゲームで、冬の寒さも吹き飛ばす程、子どもたちは元気に活動していました。立場が人を作る、環境が人を育



▲野外炊さん

(書記 田中 加代)

ーの成長に繋がっていることを実感しました。特に青年リーダーの成長が著しく見えたのは、私だけではなかったと思います。私たち指導者は、立派なキャンパーを育てるのが目的ではありません。ジュニアリーダーを育成するためにレクリエーションやキャンプを行っています。

キャンプ(夏季・冬季)参加の子どもたちの成功体験が、今後さらに素晴らしいジュニアリーダーになるための資質を身につけたと確信しています。

てるとい言葉がありますが、今回同行し、小さな体験の積み重ねが徐々にスキルアップし、リーダー

# ジュニアリーダークラブ 活動の今後を考える



現在ジュニアリーダークラブには中学1年生から高校3年生までの約60名が所属しており、私たち高校1年生を中心に活動しています。毎月定例会を行うとともに毎月行われるスパー研修会に参加しています。その他に今年度は小学生を対象とした各地少連協のジュニアリーダー研修会での助手を始め、8月、12月に行ったキャンプの企画と実施、その他、地少協でのイベントのお手伝いなどでも活動させていただきました。

また今年度は、他区他県のジュニアリーダーと関わる機会も多くいただき、互いに良い刺激を受けることができました。今後は他区他県の方々とさらに交流をし、学びを得て足立区の活動に生かしていきたいと考えております。

また、今年度は沢山のメンバーが加わりさらに活気が増してきました。一人一人が意欲を持って積極的に活動に取り組めるよう新たにジュニアリーダークラブの今後の方針を考えていきたいと考えています。

会長としては「頼られる人になりたい」ということを目標に活動してきました。うまくいったこと、いかなかったことが多くありましたが、今後、会長でないとしても日々ジュニアリーダーの活動をより良くするために精進していきたいです。

これからも足立区のためにジュニアリーダークラブ一丸となって活動していきますので、皆様のご支援お願いいたします。

(足立区ジュニアリーダークラブ  
会長 大塚 琴音)



▶ドッジビー大会でも大活躍

### 江東五区 少年団体代表者会議開催

この会議は、江東区・墨田区・葛飾区・江戸川区と足立区が毎年輪番で担当し、本年度は足立区が主催者で1月26日(日)、区立東綾瀬中学校を会場に開かれました。

会場となった体育館には、江東五区から133人と足立区のジュニアリーダー32人が集いました。

大学教授で落語家でもある金原亭世之介氏から『あいさつの「バカ」ちから』と題した基調講演がありました。落語「時そば」を皮切りに、あいさつの仕方、コミュニケーションのとり方の大切さなどを話されました。受講者を実験台にして、あいさつが相手に与える影響の度合いがどれほど大きいかを目の当たりにしました。



▲金原亭世之介氏

会場内の皆さんは、真にありさつを持つパワーを再認識

していたようでした。

続いて、2つの分科会に分かれ、育成者向けには「子どもの活動をどう評価したらいいのか」をテーマに東京学芸大学准教授の小森伸一氏から、「子どもの活動において他者との考え共有の大切さ」や、「子どもの褒め方で結果・才能を褒める『勇気づける』イメージ」が講義されました。

また、ジュニアリーダー向けには、金原亭世之介氏から基調講演



▲葛飾区子ども会育成会連合会  
会長 石橋健一氏



▲東京学芸大学  
准教授 小森伸一氏

に引き続き「話し方講座」があり、「きつかけはコミュニケーション」や「3S(スマイル、シェイクハンド、サイン)」など、コミュニケーションの仕草の重要性が身振り手振りを交えながら語られました。

その後、ジュニアリーダー交流会及び江東五区代表者の情報交換会が行われ、日ごろの活動内容や課題など交換し合い、相互に交流懇親を深めていました。

(調査広報部長 大関英広)

### 編集後記

様々な活動を通して、成長していく子どものお届けする誌面を目指して作成してきました。

来年度も、子どもたちの育成に役立つ活動をしていきます。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。(K・K)



### あ り が と う

令和元年10月9日 総務部長 小野田みよ子氏(享年72歳)が逝去されました。生前のご功績をしのび、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

#### 経歴

- 平成15年～ 舎人地少協会長
- 平成16～18年 少連協会計
- 平成19～20、23～30年 少連協書記
- 平成21～22年 少連協調査広報部長
- 平成31年～ 少連協総務部長

長年にわたり、地域の青少年健全育成にご尽力されるとともに、少連協役員として重責を担ってこられ、少連協ニュースの広報活動にもご尽力され、これらのご功績により都子連及び全子連からも表彰されました。本当にありがとうございました。